

平成 28 年 2 月 16 日

平成 27 年度 第 3 回学校協議会

平成 28 年 2 月 12 日(金) 15:40～ 本校会議室

【事務局】

- ・ 校長あいさつ
- ・ 資料の確認と次第説明

【議事】 会長が議事進行

印は委員からの意見等、事務局から

◇協議事項

(1) 自己評価を踏まえた学校関係者評価及び次年度の学校経営計画について

○数字で表せないものをどう評価するかが課題。

(2) 新入生のカリキュラム 変更点の説明

(3) 《意見交換》

【学校教育自己診断について】

○それぞれの取り組みのねらいをどのように生徒に理解・納得してもらおうとしているか？会社に比べて難しいだろうと思われるけれども、命令スタイルではダメだろうし・・・

○学校教育自己診断で教員の自己評価が厳しい。次の改善を始めるステップになる。いっぺんにはできないので的を絞っていく必要がある。生徒の自己評価がいいのはいいこと。ただ関心度が下がっているようだ。

○自己診断で保護者の数字はあてになる。ただし答えにくいものもあったようだ。教員は厳しく自己評価しているが、その内容が課題にすべきものとそこまでのものでないのかははっきりさせていく必要がある。事故時の対応などでは不安を感じる部分がある。そういった時の役割分担をはっきりさせてほしい。

○教員による評価急落の原因は何だと思うか？

現状維持が続いている事をマイナスに評価しているのではないか。

○そもそも学校は災害、事故、事件に弱い!!

役割はちゃんとあるけれど、みんなの理解不足が問題

○高校は義務教育でないもので、情報が届かないもの。回答が 30% 関心が 30% あったらいと思う。

【遅刻数について】

反省文を書かせる時に時間かけて話しこんで指導している。

○遅刻指導に大変時間をかけて行っている。よい取り組み。

○やはりじっくりと子どもと向き合うことが大事です。遅刻数は確実に数字が減っている。指導について生徒に分かってもらう努力をどうしているか。納得していないと難しい。ギャップは生まれていないか。

【部活動加入率について】

○女子生徒の部活動加入率が低いと聞いたが、低いのか？低い理由は？

□もともと80%くらいあったが落ちてきている

たとえば、今年度1年女子は校外でダンスや楽器を習っていて学校の部活には入らない生徒が多数いた。しかしここ数年学校への関心度が低くなってきている。参考までに加入率が90%以上の学校は男女差はないらしい。

【授業力の向上について】

○アクティブラーニングの目的について話したりしているか？

【その他】・若手の育成について

・SNS対策について

・家庭連携、地域連携、その他の連携について

○保護者の答えはあてにならないと思う。

「どちらでもない」がないのでどちらかを無理やり選ぶしかない。

子供はあまりしゃべってくれないし、地域とのつながりはあるけど、それでは情報がかたよっていると思う。

事故などの時にまずい対応をすると学校全体のイメージが悪くなるので注意してほしい。

○中学は高校の良い所を探して良い所だけ見て選ぶので、周辺の中学生は理解しているが、遠くの中学にももっと長尾のブランドを発信したらいい。中学校から見ると、高校の「ウリ」が何なのかを知りたい。

今年の中3生は絶対評価になって、自分の能力が高いと錯覚して、行きたい所を自由に選べると思っている。

○長尾高校の生徒は中学の先生にもあいさつしてくれる。これはスゴイ!!

○ホームページはスマホで見ていることを前提に作っていくべき。

○結局、簡単な言い方をすると《人気取り》にもっと力を入れるということ・・・

『英語に力を入れている』等という派手なのではなくても、長尾高校は中退する子が少ない!!など地味な生活態度の良さ等もブランドのうちなのではないか？

良い所を売り込めばいいけど・・・